

平成26年度霧ヶ峰における電気柵等の設置（案）について

1 設置

霧ヶ峰においてニッコウキスゲなどの高山植物をニホンジカから守るため、霧ヶ峰自然環境保全協議会構成団体において次のとおり電気柵等を設置します。

設置場所	設置時期 (予定)	概要	実施主体等
① インターチェンジ前園地	平成26年5月上旬	電気柵 約2.0km	下桑原牧野農業協同組合
② 忘れじの丘	平成26年5月上旬	電気柵 約0.6km	下桑原牧野農業協同組合
③ 車山地区	平成26年5月中下旬	電気柵 約4.6km	車山高原観光協会
④ 車山肩地区	平成26年5月中旬	防護ネット 約0.46km 電気柵 0.2km増設 約1.5km	霧ヶ峰自然環境保全協議会 電気柵のうち0.4kmは丈の低い二重電気柵
⑤ 富士見台西側	平成26年5月中旬	電気柵 約0.8km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
⑥ 八島ヶ原湿原	常設	鋼鉄柵 約4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約9.5km ネット 約0.46km 鋼鉄柵 約4.0km 計 約13.96km	平成25年度から0.2km増

2 平成25年度の効果

- (1) 車山肩地区において実験的に設置した丈の低い二重電気柵の効果が平成24年度に検証されたため、二重電気柵の位置を変更し継続して設置した。この二重柵を含む電気柵をニッコウキスゲの群生地を中心に設置しているが、柵の中のニッコウキスゲは、ニホンジカの食害に合わず開花した。
- (2) 八島ヶ原湿原に設置したシカ柵内のニホンシカの侵入形跡は、平成25年度中1頭確認されたが、その個体以外の侵入は確認されなかったため、被害防止効果は出ていると思われる。今後の湿原環境の回復が期待される。

3 課題

ニホンジカの個体数が一定程度減少するまでは、継続して電気柵を設置し、範囲を拡大する必要があるが、材料費の確保及び設置・メンテナンス等にかかる労働力の確保が難しい。

